

平成 25 年 5 月 月例労働経済報告のポイント

一般経済

- 景気は、緩やかに持ち直している。
 - ・ 輸出は、持ち直しの兆しがみられる。生産は、緩やかに持ち直している。
 - ・ 企業収益は、大企業を中心に改善の動きがみられる。設備投資は、下げ止まりつつある。
 - ・ 企業の業況判断は、改善の動きがみられる。
 - ・ 雇用情勢は、依然として厳しさが残るものの、このところ改善の動きがみられる。
 - ・ 個人消費は、持ち直している。
 - ・ 物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にあるものの、このところ一部に変化の兆しもみられる。

- 先行きについては、輸出環境の改善や経済対策、金融政策の効果などを背景に、マインドの改善にも支えられ、次第に景気回復へ向かうことが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、雇用・所得環境の先行き等にも注意が必要である。

労働経済

- 労働経済面をみると、雇用情勢は、依然として厳しさが残るものの、このところ改善の動きがみられる。

(平成 25 年 3 月の指標)

- ・ 完全失業率 (季節調整値) は 4.1%。(前月差 0.2%ポイント低下)
- ・ 就業者数 (季節調整値) は 6,297 万人。(3 か月ぶりに減少 (前月差 1 万人減))
- ・ 雇用者数 (季節調整値) は 5,521 万人。(3 か月ぶりに減少 (前月差 12 万人減))
- ・ 有効求人倍率 (季節調整値) は 0.86 倍。(前月差 0.01 ポイント上昇)
- ・ 新規求人倍率 (季節調整値) は 1.39 倍。(前月差 0.04 ポイント上昇)
- ・ 現金給与総額 (原数値、確報値) は 274,764 円。(2 か月連続の減少 (前年同月比 0.9% 減))